

証券コード：4461（東証1部）

第一工業製薬株式会社

2017年3月期 通期 決算説明資料

2017年4月27日



連結

3期連続の最高益

単位：百万円

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 実績	前年比	
			金額	増減率（%）
売上高	52,782	52,254	△528	△1.0
営業利益	3,439	3,944	505	14.7
経常利益	3,200	3,773	572	17.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,198	2,489	290	13.2

売上高： 太陽電池用途の導電性ペーストが減少

減収

営業利益： IT・電子用途の高付加価値品が引き続き伸長

原材料価格が低水準で推移

増益

過去最高益

経常利益： 営業外収支の改善

増益

過去最高益

親会社株主に帰属する当期純利益：

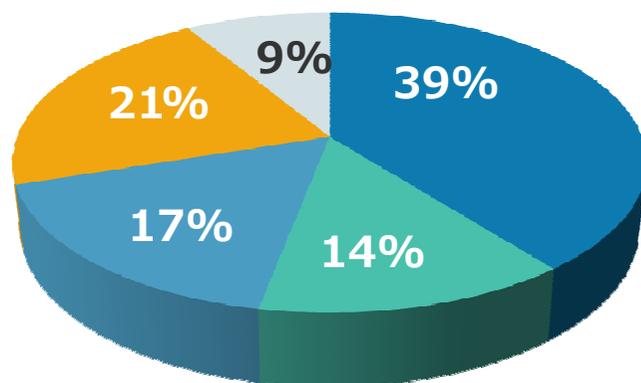
増益

過去最高益

セグメント別売上構成比の推移

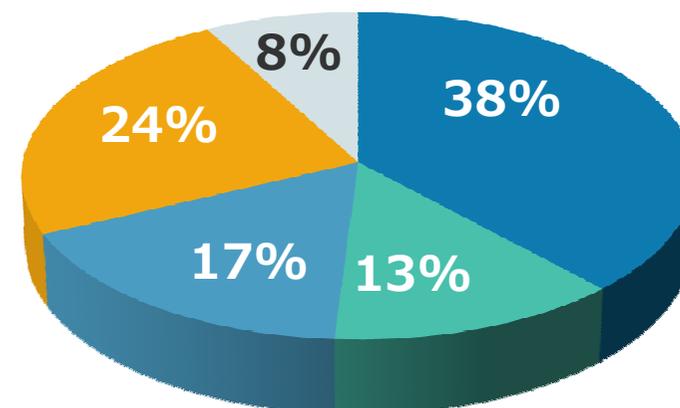
連結

売上高：527億82百万円



2016年3月期

売上高：522億54百万円



2017年3月期

- 界面活性剤
- アメニティ材料
- ウレタン材料
- 機能材料
- 電子デバイス材料

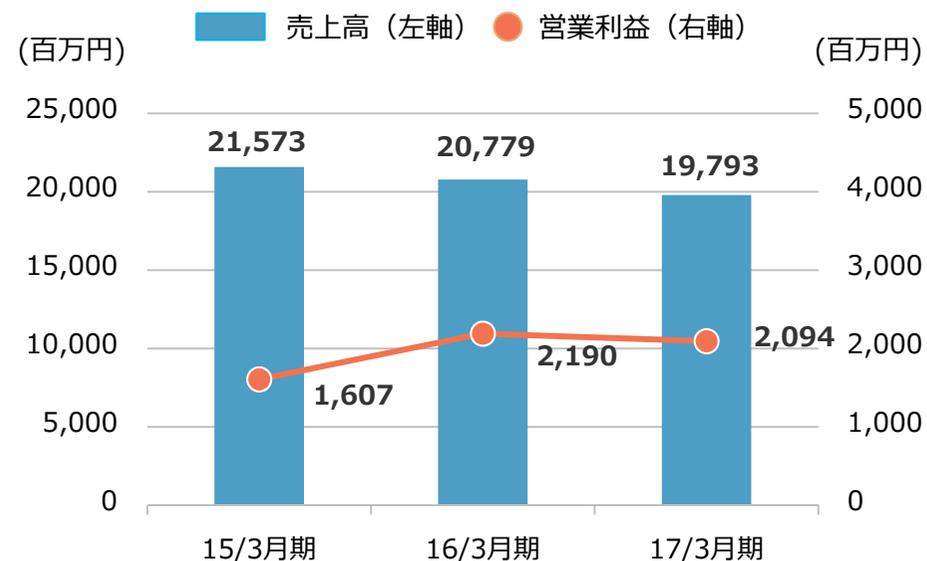
連結

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高： 197億93百万円 $\triangle 4.7\%$
 営業利益： 20億94百万円 $\triangle 4.4\%$

売上高は、やや低迷しました。
 石けん、洗剤用途が顕著に落ち込みました。

主な機能：洗淨、分散、乳化



IT・電子材用途



やや低調



石けん、洗剤用途



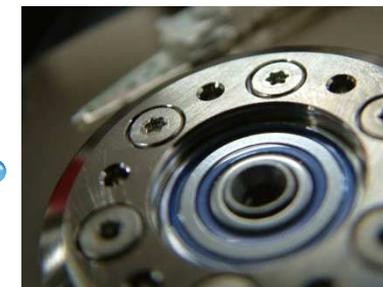
顕著に落ち込む



金属用途



やや低迷



セグメント業績 アメニティ材料

連結

生活環境において快適性を求める材料や
周辺応用技術を提供している事業です。

売上高： 69億86百万円 $\triangle 3.1\%$
営業利益： 4億13百万円 $+0.9\%$

売上高は、やや低迷しました。
海外で香粧品用途がやや低迷しました。

主な機能：増粘、分散、乳化



香粧品用途



やや低迷

食品用途



堅調

セグメント業績 ウレタン材料



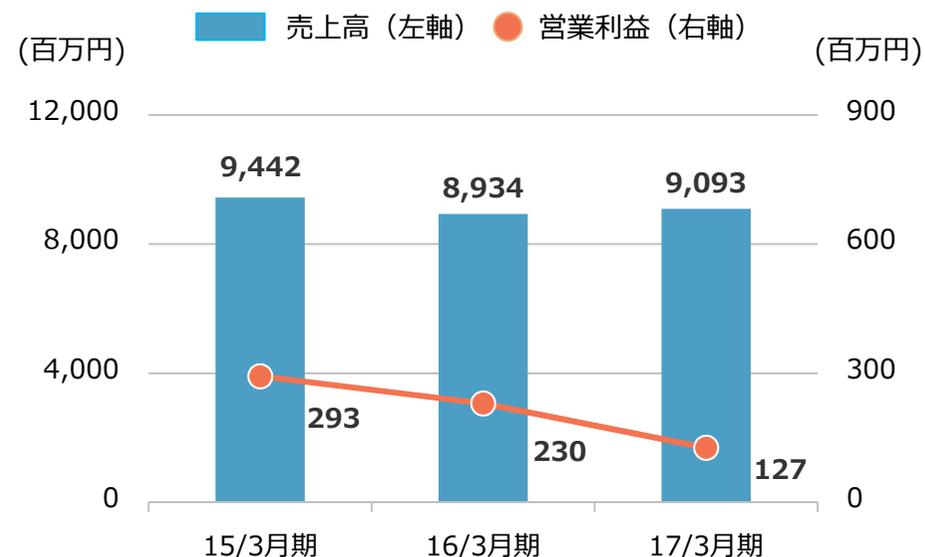
連結

塗料、接着剤、土木・建築材料、電気絶縁材料など
工業用素材やウレタン用原料を提供している事業です。

売上高： 90億93百万円 +1.8%
営業利益： 1億27百万円 △44.8%

建築用途は大きく落ち込み、
合成潤滑油が低迷。
営業利益は、大きく減益しました。

主な機能：接着、絶縁、止水



建築用途



大きく落ち込む

土木用途



顕著に伸長

合成潤滑油用途



低迷

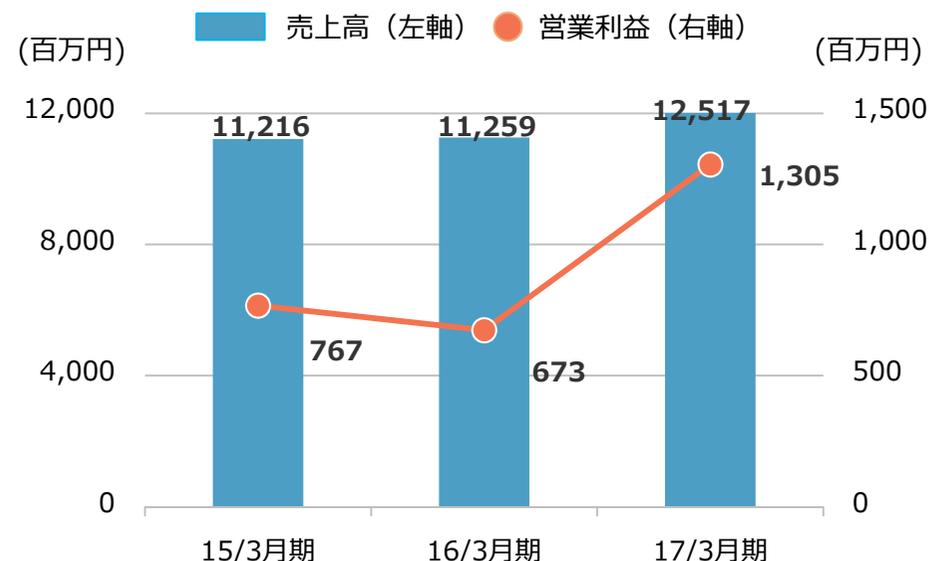
連結

家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

売上高： 125億17百万円 +11.2%
 営業利益： 13億5百万円 +93.8%

売上高は、大幅に伸長しました。
 光硬化樹脂、難燃剤が顕著に伸長。

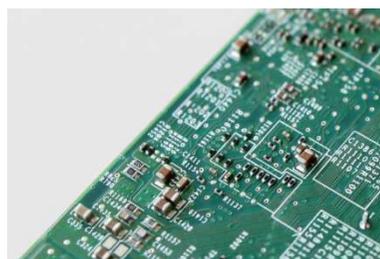
主な機能：表面コート、難燃化



電子材料用途



顕著に伸長



プラスチック用難燃剤用途



顕著に伸長



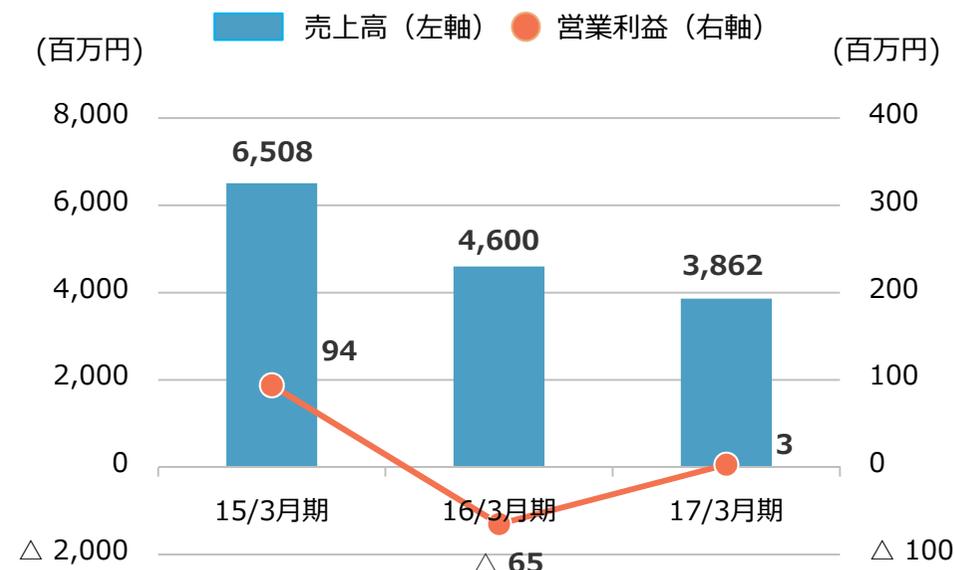
連結

家電や電子部品用途に、セラミックス材料や導電性ペーストなどを提供している事業です。

売上高：38億62百万円 $\triangle 16.0\%$
 営業利益：3百万円（前年同期： $\triangle 65$ 百万円）

売上高は、大きく落ち込みました。
 セラミックス材料が大きく落ち込み、
 太陽電池用途が顕著に落ち込みました。

主な機能：高効率、精密化



セラミックス材料用途



大きく落ち込み



太陽電池用途



顕著な落ち込み



次代への架け橋

第2プラントの建設着工



エクセル（株）の移転

安全教育研修所の開設



「DKSの高機能添加剤 – プラスチックにユニークな機能を –」
セルロースナノファイバー、界面活性剤、水系ウレタン樹脂などの
製品、および最新の開発品を展示

来場者数：約67,000人

商談者：約1,300人



期間 2017年4月5日(水)~7日(金) 10:00~18:00
場所 東京ビッグサイト 東6ホール 原料・添加剤ゾーン

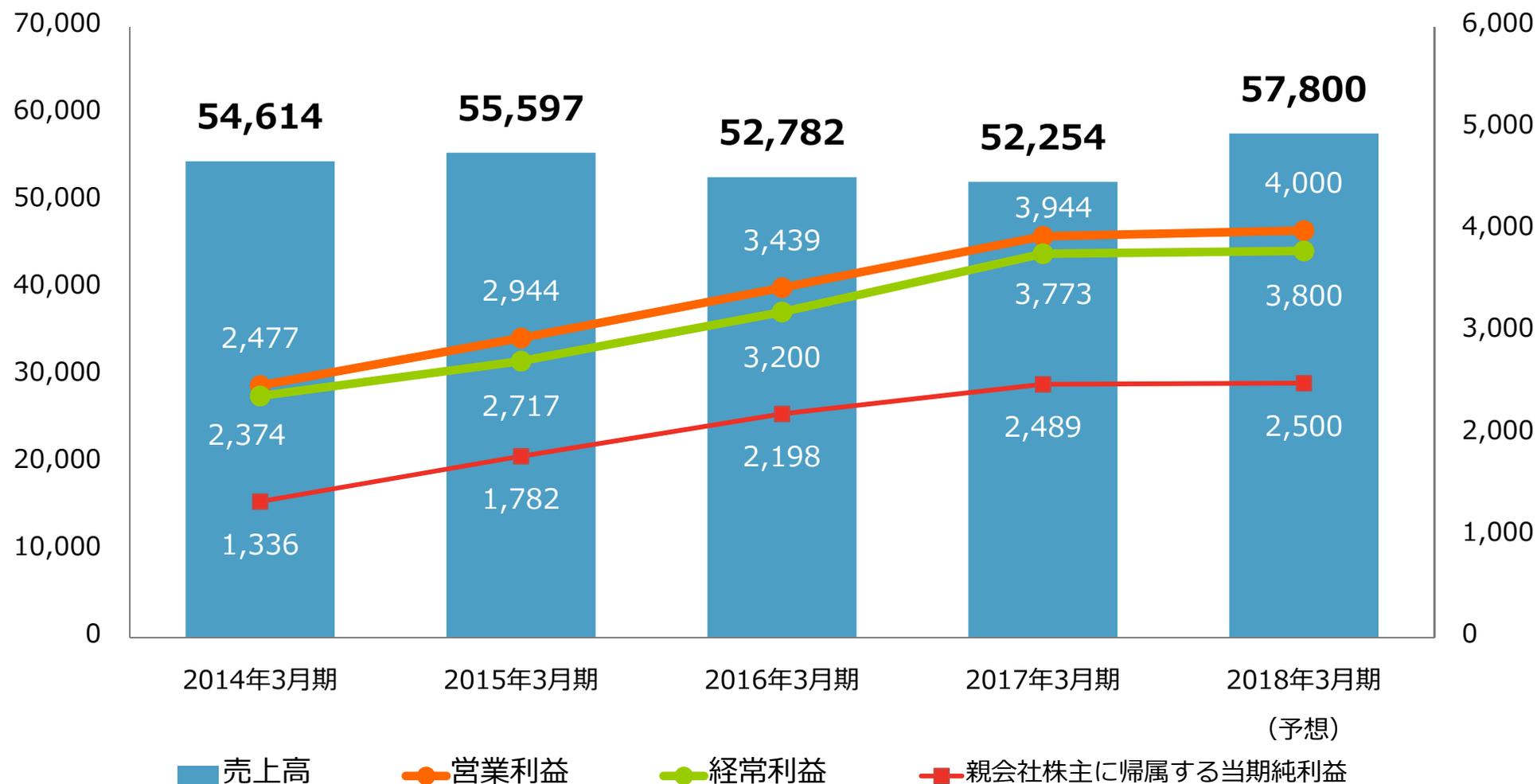
連結業績推移および予想



(百万円)

【売上高】

【営業利益】



参考資料 比較貸借対照表



連結

(百万円)

	2016年 3月期末	2017年 3月期末	前期末比 増減額		2016年 3月期末	2017年 3月期末	前期末比 増減額
流動資産	34,007	35,947	1,939	負債	39,312	41,001	1,689
現預金	9,401	9,379	△21	買掛債務	10,250	10,464	214
売上債権	13,253	14,832	1,579	有利子負債	24,617	25,713	1,095
たな卸資産	8,801	8,410	△390	その他	4,444	4,824	379
その他	2,551	3,324	773	純資産	26,745	28,044	1,298
固定資産	32,050	33,098	1,048	株主資本	25,313	26,293	979
有形固定資産	27,158	28,390	1,232	その他の包括利益累計額	324	561	236
無形固定資産	548	387	△160	新株予約権	7	3	△4
投資・その他の資産	4,343	4,320	△23	非支配株主持分	1,100	1,186	86
合計	66,057	69,046	2,988	合計	66,057	69,046	2,988

連結

(百万円)

	2016年3月期 通期	2017年3月期 通期	対前期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,197	3,750	△447
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△ 7,687	△3,336	4,351
フリー・キャッシュ・フロー	△3,490	414	3,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,154	△477	△1,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	△42	4
現金及び現金同等物の増減	△ 2,381	△105	2,276
現金及び現金同等物の期末残高	9,401	9,296	△105

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
国産ナフサ	50,000円	50,000円	40,000円	36,000	42,000
外貨:ドル	121円	122円	121円	102円	117円
外貨:ユーロ	149円	137円	132円	114円	123円
外貨:人民元	19円	20円	18円	15円	17円

マクロ環境サマリ

- 日本は、雇用環境の改善で、緩やかな回復基調。
- ブレグジットや米国新政府の動向など先行き不透明。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が
計画、予測したものであります。
実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異
なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではござ
いけません。

第一工業製薬株式会社 広報 I R 室
E-mail: d-ir@dks-web.co.jp